

## 平成28年度事業計画書

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

本協会は、定款に定める通り我が国におけるプロボウリングを統括し代表する団体として下記に掲げる公益目的事業に真摯に取り組み、ボウリングの普及・振興を図り、不特定かつ多数の者の心身の健全な発達に寄与し又は、豊かな人間性を涵養することを具現化すべく活動します。

併せて、公益社団法人としての社会的使命を十分に自覚し協会運営を実行してまいります。

### 公益目的事業(1)

#### プロボウラー及び指導員の認定育成事業

- (1)プロボウラーの資格認定及び登録事業
- (2)プロボウラーの指導者及び一般の指導者の資格・認定登録
- (3)講座、セミナー、育成事業
- (4)ボウリングを通じての医・科学の調査研究事業
- (5)ボウリング関係団体等が主催する競技会又は講習会の指導・援助
- (6)ボウリングに関する刊行物の発行
- (7)ボウリング技術及びマナーに関する調査研究、指導及び奨励事業
- (8)その他本協会の目的を達成するために必要な事業

### 公益目的事業(2)

#### 競技会開催による普及及び啓発事業

### その他の事業(1)

#### 会員相互扶助事業

# 公益社団法人日本プロボウリング協会 平成28年度各運営委員会事業計画

## 公益目的事業(1)

### プロボウラー及び指導員の認定育成事業

広範な国民にスポーツへの参加意識を高めるために、技術に裏付けされたプロボウラーの資格認定及びボウリングを行う者を基本から正しく習得出来るよう指導する者を養成し資格付与を行い、もって国民の心身の健全な発達と豊かな人間性の涵養を目指す。

#### ☆インストラクター委員会

- 1 高齢者の福祉の増進を目的とする事業
- 2 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業
- 3 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は、豊かな人間性を涵養することを目的とする事業
- 4 地域社会の健全な発展を目的とする事業
- 5 その他、公益に関する事業として政令で定めるもの

### 平成28年度重点事業

【1】JPBA創立50周年事業として「夏休み全国ジュニアボウリングスクール」を開催する

【2】ジュニアスクールバッジシステム研究と構築

【3】世界レベルのボウラーを育成する。

テクニカル・サポートに関するコーチングの最新情報の収集とスキル研究  
(USBCゴールドコーチを招聘してのテクニカル講習会の開催)

- (1) 指導者養成事業
- (2) 公認A級インストラクター研修会の開催
- (3) 講習会開催事業
- (4) ボウリングスクール開催事業
- (5) 告知・広報関係事業
- (6) その他の事業

## 公益目的事業 (2)

### 競技会開催による普及及び啓発事業

競技会の開催を通じて広範なアマチュアボウラーが日頃鍛えた実力をプロボウラーと一緒に競い、試し披露できるという競技会の醍醐味を提供する。

プロボウラーの高度な技術に裏打ちされたプレーに接しながら競う共有体験が競技の奥深さを知り、技術向上の機会を提供することになる。又、観戦する方々にも観る楽しみにも止まらずに自らが参加したいという意識を喚起しスポーツ参加者の裾野を拡大し普及振興に寄与する。

#### ☆開発・国際委員会

- 1 プロ組織のある外国との窓口業務を遂行する(PBA・KPBA)
- 2 国際トーナメント開催の研究
- 3 国際交流の具体的展開

## ☆トーナメント委員会

- 1 プロ意識の向上を図るため教育プログラムの実施
- 2 ファン層の拡大を図る(ファンサービスの徹底と充実)
- 3 競技会レベルの向上を図る(シーズントライアルの開催、講習会の実施)
- 4 地区活動の活性化を目的としたルール改正

これらの目的を達成するために委員会を設置し以下の項目を実施する

### 平成28年度重点事業

- 1 プロボウリング協会創立50周年記念企画(50周年記念トーナメント2017年1月開催)
- 2 ファンサービスの徹底と充実
  - ・現役選手会の活性化
  - ・地区、地域活動の活性化

- (1) 競技会事業
- (2) 社会貢献活動事業
- (3) その他の事業

## その他事業(会員相互扶助事業)

本協会の発展に永年尽力した正会員に対し、その労に報いるため慰労金及び功労金・弔慰見舞金を支給する事業の実施。

---

## 各委員会計画

### ☆広報委員会

本協会の目的を達成するために必要な事業の広報ならびに、各委員会が行う公益目的事業を周知するため、本協会のホームページによる情報配信を行う。

### ☆50周年記念行事実行委員会

創立50周年(2017年1月)を迎えるにあたり、記念行事実行委員会を設け内容検討及び準備を行う。また、新規公認(B公認含む)トーナメントを開催する為の助成金事業を、2017年度まで行う。

### ☆基本問題検討委員会

各運営委員会に属さない諸問題への対処と解決策を検討すること及び中期的な協会の未来像を作り上げる。

### ☆総務委員会

総務及び財務の関連する事項を総合的に管理して公益社団法人としての事業目的に合致した健全なる協会運営を図る。

# 公益社団法人日本プロボウリング協会

## 平成28年度正味財産増減予算書

(平成28年1月1日から平成28年12月31日迄)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
[経常増減の部]			
[経常収益]			
【受取入会金】	1,500,000	1,500,000	0
【受取会費】	77,300,000	75,667,900	1,632,100
【事業収益】	113,130,000	117,502,000	△ 4,372,000
大会運営収益	92,030,000	94,152,000	△ 2,122,000
その他事業収益	21,100,000	23,350,000	△ 2,250,000
【インストラクター収益】	28,610,000	14,840,000	13,770,000
【寄付金収益】	800,000	800,000	0
【雑収益】	640,000	335,000	305,000
経常収益計	221,980,000	210,644,900	11,335,100
[経常費用]			
【事業費】	201,773,379	188,600,341	13,173,038
トーナメント事業費	93,081,000	97,157,120	△ 4,076,120
トーナメント委員会費	90,181,000	94,217,000	△ 4,036,000
国際委員会	100,000	100,000	0
開発事業費	2,800,000	3,200,000	△ 400,000
インストラクター事業費	22,720,000	12,430,000	10,290,000
広報事業費	10,010,000	10,850,080	△ 840,080
50周年記念事業準備費等	10,700,000	10,500,000	200,000
その他	10,086,381	4,086,381	6,000,000
事業管理費	55,175,998	53,216,880	1,959,118
【管理費】	27,587,646	26,717,942	869,704
経常費用計	229,361,025	215,318,283	14,042,742
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,381,025	△ 4,673,383	△ 2,707,642
[経常外増減の部]			
[経常外収益]			
50周年記念事業引当金	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
[経常外費用]			
法人税等	70,000	70,000	0
経常外費用計	70,000	70,000	0
当期経常外増減額	△ 70,000	△ 70,000	0
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 7,451,025	△ 4,743,383	△ 2,707,642